

No.	ご意見	回答	担当部署
1	先日燕三条駅に降り立ちました。弥彦神社に久しぶりに参拝するためです。 燕三条駅の大きな駅舎の中をうろうろしながら弥彦線のホームに移動しようとしたところ、白杖を持った初老の方とその付き添いの方が、やはり弥彦線のホームに移動しようとしているところでした。 上越新幹線開業から既に40年以上。当然在来線ホームへの移動のためのエレベーターやエスカレーターが整備されているものと勝手に思い込んでおりましたが、将に、「あにはからんや」でした。在来線のホームでいくら探してもエレベーターやエスカレーターは見当たりません。 現在の燕三条駅は燕市と三条市との境界線上に造られたと仄聞します。新幹線の駅設置の時点で、当時の国鉄と燕市、三条市そして、恐らく新潟県も交えた話し合いが様々なされ、駅舎整備に関する基本協定のような約束が交わされたものと推察します。 首都圏では、昨年三月に東京の電車特定区間で一律に従来の運賃に10円値上げする形での運賃改定がなされ、それによる収益増加分を財源として首都圏でのJR駅でのバリアフリー化を促進することになったと伺っております。また、この運賃値上げについて、世論の大きな反対があったとは聞いておりません。 新幹線燕三条駅は新潟県内でも刃物産業など産業基地としての性格も強く、海外も含めた遠来訪問客の交通需要も少なくないものと拝察します。それにしてもバリア不自由の現状は情けない限りです。大人の事情は色々ありましようし、言い出したらキリが無いかも知れません。しかし、鉄道利用者第一と考えれば、大人の事情を突き崩しての大きな利便性向上が出来そうに思います。両市については各市の市民、新潟県は新潟県民、JR東は株主優先、株主第一主義では無く、全ての県民全ての乗客のみならず、世界中の人々がステークホルダーとの見地に立ってこの問題に向き合うことが、SDGs優先の現代社会に相応しい姿だと思います。どちらかの市が改良工事のための資金を提供し、他の関係自治体、JR東が追って資金負担分をお返しする形もありうると思います。インバウンド需要が喧伝される今日この頃ですが、はたして今の燕三条駅が胸を張って「世界中の皆様、いらっしやい」と言えるのかどうか疑問です。 燕三条駅のバリアフリー化が実施されることを心から願うものです。	JR駅へのエレベーター設置については、国土交通省がバリアフリー法に基づき「移動等円滑化の促進に関する基本方針」を定めており、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上のJR駅については、原則として令和7年度までを目途に、エレベーターを設置することとされています。 燕市においては、燕三条駅と吉田駅の2駅が設置対象となっており、事業主体であるJR東日本では、燕三条駅の弥彦線ホームへのエレベーター設置を優先して改修するべく、関係団体等と現在協議を進めているところです。 ご不便をおかけしており誠に申し訳ありませんが、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。	都市計画課
2	①つばみ保育園の駐車場が狭くていつも困っています。もっと駐車出来る車を増やして欲しいです。 ②白山町公園にもっと遊具を沢山置いてほしいです。あと虫がいっぱいいて遊びたくても躊躇してしまいます。昨年10分くらいいただけで蚊に5箇所くらい刺されました。これは余談ですが目の前が売地になってるのでそこを使って有効活用してみてもよいのでは？	①つばみ保育園の駐車場について 駐車場敷地が狭く、駐車や乗降にご不便をおかけしており申し訳ございません。 こども未来課といたしましては、混雑時のお子さまのお引渡しをできるだけスムーズに行うとともに、お引渡し後、速やかに車を移動してもらうよう周知徹底するなど、保護者のみなさまが互いに気持ちよく利用できるように努めてまいります。 なお、職員も保護者の方と同じ駐車場を一部使用していることから、駐車区画が少しでも空けられるように、勤務時間に応じて駐車区画を変えるなど工夫してまいります。 ②白山町公園の遊具設置および虫の発生について 公園の遊具設置につきましては、平成26年度に国土交通省から、遊具間の安全領域確保などの条件が示されており、これらの条件や既存施設の設置位置を考慮すると、白山町公園に新規に遊具を設置することは難しいと考えております。 また、白山町公園の維持管理につきましては、地元自治会に委託しており、定期的に草刈りなど実施いただいているところです。しかしながら、蚊などの発生を完全に抑えるのは難しいことから、ご自身での虫よけ対策も行っていただき、公園をご利用いただけたらと考えております。 ご要望にお応えできない点もございますが、今回いただいた貴重なご意見は、今後の公園整備に反映していきたいと考えております。	こども未来課
3	広報を毎回読ませて頂いてますが現状維持感が非常に感じます。隣の三条は頑張ってる感じがします。負けるなよ!!ヤル気だせ!!	このたびは、広報つばめに対する貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。 叱咤激励のお言葉を胸に刻み、特集記事等を充実させるほか、市民の皆さまにとって有益な情報を分かりやすくお届けできるよう、これまで以上に努力を重ねてまいります。	広報秘書課

No.	ご意見	回答	担当部署
4	スポーツランド燕の体育館の中にクライミングウォールを作ってほしいです。 スポーツクライミング競技は東京オリンピックでは女子日本人選手が銀メダル銅メダルを獲得し、パリオリンピックでも男女ともにメダル獲得候補として大変注目されている競技ですが、県央にはボルダリングができる場所が一件もありません。 新潟市には市営施設、長岡市には民営施設、上越方面には市営施設と今年民営施設も2件オープンします。リードクライミングは三条のWESTでできますが、高額な専門の道具やいくらか長い時間の講習が必要です。ボルダリングは小学生から高齢者まで一緒に気軽に楽しめるので幅広い方の運動習慣の推進になると思います。 今年新設される予定の屋内子ども遊戯施設にキッズウォールができるかもしれませんが、小学生以上～大人用のクライミングウォールをぜひご検討お願いします。スポーツランド燕はスケートボードパークができてスポーツ推進のイメージがあるので、ボルダリング施設を作るのに適しているように感じました。	スポーツクライミング競技は、日本選手の活躍により、パリオリンピックでのメダル獲得への期待が高まるなど、注目を集めている競技であると認識しております。 一方で、クライミングウォールの他にも、様々な施設の設置要望が寄せられていることから、各競技の活動状況やニーズを踏まえつつ、スポーツ施設の改修時期に合わせて、随時検討を進めてまいります。 今回いただいた貴重なご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。	社会教育課
5	日曜日隔週朝6時から弥生町で害虫駆除が行われており爆音で寝てられません。 作業されてる方も休みの朝から起きて作業にあたって大変だと思います。 各町内会に任せてるかもしれませんが燕市として禁止にしてください。	害虫駆除作業につきましては、各自治会の判断で、薬剤散布の是非も含め、方法や種類を定めて実施しておりますので、自治会長へ相談されることをご検討いただければ幸いです。	生活環境課
6	NHKクローズアップ現代「追跡“PFAS汚染” 暮らしに迫る化学物質」この番組を見て怖さを感じ、調べたら燕市は調査されてないようです。住みやすさ、子供たちを守る観点からしても必要な調査だと思います。 是非ともPFAS検査を行い、安心して住める燕市をお願い致します。	水道水のPFAS汚染に関する調査につきましては、PFASの内、PFOS及びPFOAが水道原水及び浄水から検出されていたことから、厚生労働省が令和2年4月に水質管理目標設定項目に同項目を位置付けており、当局では、令和3年度から市内3地点、弥彦村1地点の給水栓（蛇口）より水道水を採取し、検査を実施しております。 検査は、厚生労働大臣登録検査機関であり、検査結果の信頼性、精度管理が（社）日本水道協会によって保証された水道GLP認定機関である（一財）新潟県環境衛生研究所に委託して実施しております。 検査結果につきましては、令和3年度から令和5年度まで、採水地点4地点とも検出下限値（検査で測定可能な限界値0.000005mg/L）未満となっており、国が定めるPFOS及びPFOAの暫定目標値0.00005mg/L以下となっておりますので、引き続き、安心してご使用ください。 また、今年度の検査につきましては、8月に実施する予定で、来年度以降も国の方針に従い検査を継続してまいります。	燕・弥彦総合事務組合 水道局
7	風の子くらぶについて 子どもが以前風の子くらぶに参加させてもらいましたが、とても有意義な体験でした。 今年はなくなったと聞いており、たまたま燕議会の中継を見ていたところ、風の子がテーマの議論をされていました。参加者が少ないなどで取りやめたなどと言われていましたが、とても残念です。 風の子のコーディネーターの男性は優しく、時に厳しく子どもを導いてくれて良い方でしたので、人数などの問題ではなく続けて欲しかったです。人数が少なくなったのならもっと増やす努力をしてほしかったです。少数を切り捨てられたようで悲しかったです。教育長さんは長善館事業など違った形で継続していきたいというような事を言われていたと思いますが、ぜひ長善館でも、風の子のコーディネーターさんを先生に同じようなことをしてほしいと思います。	「風の子くらぶ」の活動を評価いただき、ありがとうございます。 活動の中には、学校では教えてもらえない野外体験なども多く、お子さんにとって貴重な経験だったのではないかと思います。しかしながら、「風の子くらぶ」はここ数年定員に達しておらず、また近年は多様なニーズに対応した「つばめ長善プロジェクト」をはじめとする様々な取組を行っていることから、こうした要因を総合的に検討しつつ、指導員との話し合いを重ね、令和5年度をもって廃止とさせていただきます。 「つばめ長善プロジェクト」では、サバイバルキャンプや職場体験などを通じてリーダーとしての資質を養う「長善館学習塾」、英語でのコミュニケーション活動を通して国際理解を深める「Jack & Betty教室」、プログラミングに対する興味関心や学び続ける意欲を高める「つばくろロボキッズ教室」、子どもたちが自ら記事の企画・取材・編集を行い広報紙を発行する「広報つばめ『子ども記者』」などの活動を行っています。また、各種団体においても類似の事業が行われており、教育委員会として共催や後援により活動をサポートしているところです。 引き続き、子どもたちが様々な知識や技術を学んだり、異なる学校・異なる学年と交流することで協調性や自立心を養ったりすることができる体験活動の機会の提供・保障に努めてまいります。 なお、「風の子くらぶ」で活動していたコーディネーターは、燕市子ども体験活動支援センターの指導員として、学校や地区の行事等の相談や活動支援を行っております。学校PTAや地域活動などでイベントを企画する際には、ぜひご活用いただければと思います。	社会教育課

No.	ご意見	回答	担当部署
8	老人会の集まりにて、運転免許証を返納し、最近ではバス、電車の乗り物が増え、「膝、腰などの痛みが多くなり吉田駅の上り下りが難しくなった」「せめてエレベーターでもあったら楽に行動できるのでは」「なんとかならないものだろうか」と話題になりました。市政の方で話を出してもらえたら嬉しく思います。	JR駅へのエレベーター設置について、国土交通省では、バリアフリー法に基づく移動等円滑化の促進に関する基本方針において、1日当たりの平均的な利用者数が3000人以上の駅を原則として令和7年度までに設置することを目標に掲げております。 燕市につきましては、吉田駅のほか、燕三条駅の2駅が対象となっており、事業主体であるJR東日本では、燕三条駅の弥彦線ホームへのエレベーター設置を優先して改修することを予定しており、本件について現在協議中でございます。 そうした一方で、吉田駅にエレベーター設置の声があることも燕市として承知しておりますが、JR東日本からは、吉田駅はホームが5番線まであり、エレベーターを3基設置する必要があるほか、設置によるホームの拡幅や支障物の移設、経済性、車いすの動線など、まだ精査すべき課題が残されていると聞いております。 今後JR東日本において、エレベーター設置に係る調査設計等の作業が進められると想定しておりますが、市としては引き続き適切に対応してまいりたいと考えております。	都市計画課
9	仕事を辞めて海外で生活し、この度身内の不幸で急遽帰国しました。 市民課で転入、転出の手続きの際、「日本に1年以上住まない人は転入できない、お断りしている」と言われました。国際化も進み、様々な生活スタイルがありますが、そのような人は住民票も置けないし、保険も使えないということでしょうか？疑問です。ショックと憤りを覚えました。どうか助けてください。	このたびは、窓口対応で不快なお気持ちにさせてしまい大変申し訳ございませんでした。 海外からの転入につきましては、国の通知により、1年以上に渡る国外への出張等で転出届を提出し海外に住所を移している方や、永住の目的で海外に転出している方が、婚姻や印鑑登録、肉親の財産処分等のために一時帰国している場合、その期間が1年未満であるときは、住所は国外にあるものとして扱うため、転入届の受付はできないこととなっております。 今回、滞在期間を確認させていただきましたが、差出人様の場合、急遽帰国されたということなので、一時帰国であると判断し、その旨お伝えさせていただきました。 差出人様のおっしゃるとおり、国際化が進み、多様な生活スタイルが増えてきていることは感じておりますが、地方公共団体である以上、国が定めた規則に則り業務を行わざるをえませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。 外国によっては住民登録が必要な国もありますが、日本と外国で重複して住民登録をすることはできません。もしも、差出人様の生活の拠点が日本にあり（日本のご家族の元や日本の会社に勤務されているなどの場合）、海外での住民登録を抹消して帰国された場合は、日本での住民登録が必須となりますので、その際はいつでもご相談ください。 窓口対応につきましても、窓口に来られた方のお気持ちに寄り添った丁寧でわかりやすい対応を心がけておりますが、あらためて課内全職員に指導いたしました。	市民課
10	吉田町のスーパーマルイから国道方面へ行く踏み切りを渡る直線道路のセブンイレブンまでの道路について、その直線道路脇の歩道が夜になると街灯があっても物凄く真っ暗な歩道で、車を運転していると、歩行者や自転車が暗く見えづらく大変に危険です。歩行者や自転車を見えやすくするために、明るい街灯で照らしていただき、事故や怪我がない直線道路にしてもらいたいです。 それと夕方から夜になってくると、帰宅の車が多く走っていて夜もなかなかの交通量になります。ビジョン吉田裏の中学から帰宅していく中学生も危険になるので、大きな事故や怪我になる前に、スーパーマルイから国道方面に行く夜の歩道に明るい街灯設置の対策をお願いしたいです。	今回、ご指摘いただきましたマルイ吉田店から国道までの街灯について、現地を確認させていただきました。 マルイ吉田店から踏切までの間の歩道には、防犯灯が4箇所設置してあります。 また、踏切から国道までの間においては、車道脇に緑地帯があり、水路を挟んで歩道が整備されており、歩道灯が6箇所設置してあります。 マルイ吉田店から踏切間の防犯灯については、所定の明るさが確保されていると考えますが、踏切から国道間の歩道灯については、6箇所中照度が低下しているものがありましたので、取替等修繕を実施します。 併せまして、上記歩道につきましては、自転車の通行できる歩道となっておりますが、中学生の通行実態について、歩道ではなく公園側を通っている等の情報がありましたら、ご都合の良い時で構いませんのでご連絡いただければ幸いです。	土木課

No.	ご意見	回答	担当部署
11	夏まつり花火大会での事です。 観光振興課の対応について、保健センター経由で改善して頂きたい事を3つお伝えいたしました。 反省会でどのように反映されるのか分かりませんが、来賓の為の本部では無く、観覧者の方に目を向けて欲しいと強く思い、手紙を書きました。 来賓の名札はしっかりラミネートされ、風で剥がれそうになると、養生テープで補強する。来賓が来ると全員起立して挨拶をする。なのに、その他の者には挨拶が無いどころか、水も無い、防犯の方（来賓）が見るに見かねて「俺に挨拶する前に救護さんだろ！」と言われても、終始無視。上司や来賓には、態度が違いすぎます。 本部は何の為にあるのですか？接待の場所なのですか？観覧者から、水や自販機、コンビニ、駐車場の件など諸々誰が対応していたのか、本部のスタッフは分かれますか？農政課の対応を是非とも学んで頂きたいです。とても同じ役所内とは思えません。3つの事により、私は謝礼をお断りいたしました。市長には役所内で起きている事実を知って頂きたいと思います。	まずは、燕大花火大会を実施するにあたり、本部でご対応いただく差出人様をはじめ、警察や消防等の関係者の皆様に、ご不快な思いをさせていただきましたこと、誠に申し訳ございませんでした。 また、観覧者の皆様への対応について、市職員も対応しておりましたが、隅々まで行き届いておらず、至らぬ点があったこと、そして、市職員に代わりご対応していただいたこと、重ねてお詫び申し上げます。 市長からも観覧者や関係者への対応について注意するよう指示を受けました。 以後、このようなことがないよう、課内で情報を共有し、再発防止に努めて参ります。	観光振興課
12	数年前、市長にお目にかかり、あたたかい人となりを感じ、以来、心より応援しております。 これは私の希望なのですが、後年、良寛史料館が道の駅国上に移転することが決定したとのことです。大正時代に、JR越後線が越後鉄道だった頃の旧地藏堂駅の仮乗降場が、ちょうど今の良寛史料館の裏手でありました。渋沢栄一様、前島密様、大倉喜八郎様といった皆様の尽力で越後鉄道は創設されました。良寛史料館が移転後は、この地に越後鉄道発祥の地の碑を建立してはいかがでしょうか。	お手紙にもあるとおり、分水良寛史料館は、道の駅国上の隣接地へ移転することについて現在検討を行っております。 現在の施設やその跡地の活用方法について、現時点では未定ですが、いただいた意見等を参考に、今後、必要な協議を進めてまいります。	社会教育課
13	ムクドリの被害について 現在井土巻付近において、夕方6時過ぎ辺りからムクドリの大群が飛来してきています。 例年この時期になると同じ現象が起きています。近隣の街路樹の下への歩道に大量のムクドリの糞による悪臭や、鳴き声による騒音がやみません。燕市としてなにか対策はとっておられるのでしょうか？ 井土巻の地域は燕三条駅、三条燕インターがあり、県央地域の玄関口としても機能しています。昨今は観光やビジネスで来られる方も増えていると思います。燕三条駅付近の宿泊施設から飲食店に向かうであろう方々も、ムクドリの群れの下を走りながら移動しているのを目にします。 今後対策を取るのであれば、こういった対策を施すのかを具体的に示していただくようお願いします。	ムクドリ被害の対策としては、ねぐらを作らせないための街路樹の適切な管理等を行っていききたいと考えております。 対応には新潟県および三条市等との調整が必要なため、今しばらくお時間をいただきますようお願いいたします。	生活環境課
14	交通事故防止策についてのお願いです。 私の住居の前の道路で、頻繁に交通事故が起きています。かつて、私の家の庭木に車が乗り上げる事故もありました。先日も交差点で2台の車がぶつかりました。幸い怪我人はありませんでした。事故があるたびに、「とまれ」標識や停止線の設置を要望しましたが、まったくやる気がないようです。 ここに住んで10年以上になりますが、ここ5年間は、年に数回衝突事故が発生しています。一時停止をしなかった運転手は、自分がとまれであることに気づかなかったようでした。「相手がすごいスピードで来た。」と言っていました。せめて停止線があれば、運転手は優先道路はどちらか気づくと思われま す。 燕市として、対策をしてくださる気があるのかどうか、教えてほしいです。死亡事故が起きたらやるのでしょうか？対策をするかどうかの判断基準もあるのなら教えてほしいです。警察には事故のたびに要望していますが、燕市には届いていますか？これも知りたいです。ずっと放置なので。よろしくお願いします。	ご指摘の交差点において頻繁に交通事故が発生していること、また、差出人様宅の庭木にも被害があったとのこと、ご不安でいらっしゃる事とお察しいたします。 本件について燕警察署に問い合わせたところ、当事者等の証言はじめ、事故の詳細を市へ報告することや個別の要望対応は行っていないとの回答でした。 「とまれ」の標識や停止線の設置をする権限は、市ではなく警察にあり、警察を中心とした対策の検討を進めるためには、自治会として詳細情報や要望をあげていただく必要があります。ご参考までに、自治会から提出していただく「交通関係要望書」の様式を添付いたします。この様式をもとに、自治会・燕市・警察署の3者で協議を行い、道路形状や道路環境、交通量などから総合的に対策の必要性について判断する流れとなります。 まずは自治会からこの「交通関係要望書」を提出していただくことが重要になりますので、一度お住いの自治会へご相談いただけますと幸いです。 交通事故防止は、市としても大変重要であると考えております。とりわけ、自治会長さんをはじめ、地域の皆さんにも地域全体の問題として認識していただくことが事故防止に繋がると考えております。 今後も、交通事故防止のみならず、「安全・安心できるまちづくり」を目指して地域全体で取り組んでまいりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。	生活環境課

No.	ご意見	回答	担当部署
15	1、「吉田勤労青少年ホーム」の利用改善のお願い 私はこの「吉田勤労青少年ホーム(以下「ホーム」という)」に隣接するテニスコートをときどき利用しており、ときにはここで開催される大会に出場することもあります。その際にこのホームから大音量による楽曲(楽器による演奏+歌唱)が聞こえてくるのがよくあるのですが、それがスポーツ、特に試合をする者にとっては全くふさわしくない耳障りなもので非常に迷惑しています。演奏している方々にとっては気持ちよいのかもしれませんが、まるで場末のスナックのような選曲ばかりで非常に不快です。これまで何十年もテニスをしてきましたが、これほど劣悪な環境でテニスをさせられる場所を他に知りません。エアコンが故障しており、窓を開けて演奏しているとのことですが、施設の修繕や演奏の音量を下げるなど、何らかの方法で改善くださいますよう、お願いします。 2、燕市役所職員の体質改善のお願い 上記1の件について、社会教育課の職員の方と話をさせていただきましたが、理解不能な回答に振り回されることとなり、愕然としました。市民としては看過できない問題と考えます。燕市役所の職員はいったい誰のために働いているのか、という疑問を持たざるをえませんでした。職員の意識・行動の改革を求めたいと思います。	ご連絡に対し説明が不十分であったことや、対応に配慮が欠けていたことなどについて、対応した職員へ改めて指導を行ったところです。 吉田勤労青少年ホームは、ご推察のとおり、将来的な施設の廃止を予定しております。そのため施設修繕が難しい状況ではございますが、楽器演奏等による騒音発生が見込まれる利用者に対しては、音量を下げてもらう等、協力を依頼してまいります。 今後はこのようなご指摘をいただくことのないよう、市役所全体において、職員一人ひとりの資質向上を図り、親切かつ心のこもった対応を徹底するよう指導してまいりますので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。	社会教育課 総務課
16	僕は市内小学校の1年生です。クロームブックを毎日持ち帰りしていて、ランドセルが重くて学校に行くときに転びました。ひざから血がでました。使わない日は持っていかなくていいようにしてください。お願いします。	朝、登校するときに転んでしまい、ひざを怪我されたとうかがい、心配しています。一日も早く治りますよう、心よりお祈りいたします。 また、クロームブックを家に持って帰ることで、お家の方も荷物について心配されていると思います。令和2年から子どもたちにクロームブックが配られ、毎日の授業の中で、調べたり、友だちと考えを分かち合ったり、整理したりすることなどに使っています。学校でも 家庭でも、学習をするときに クロームブックを積極的に使うことを勧めています。鉛筆や定規などの文房具と同じように子どもたちの学習に必要なものだと考えています。 また、突然学校が休みになっても家でインターネットにつなぎ、健康観察や連絡、授業ができるように準備することもクロームブックを持ち帰る目的の一つです。ご意見のように、使わない日は持ち帰らない、という考えもありますが、このような目的と理由から、市の教育委員会では、原則、クロームブックを持ち帰ることにしています。その代わりに、家での学習に使わない教科書やノートやワークを学校に置いておける「置き勉」を勧めています。クロームブックを持ち帰ることから、家での学習のために必要な教科書などを選んで持ち帰り、そのほかは学校に置いていくよう改めて皆さんにお知らせします。また、安全に学校へ歩いて来れるよう指導を行います。	学校教育課
17	孫の保育園の場所問題です。 上の子の小学校と下の子の保育園の場所が離れているため、送り迎えの負担が大きく、時間と精神的に余裕がなくなり、子どもたちにきつく当たるようになり危険を感じたので、少しでも親の負担を軽減するために下の子を希望する保育園へ入れてくださいとこども未来課に相談しましたが、改善されませんでした。3年間希望通りになりませんでした。上の子は最初から第一希望の保育園でした。わざわざ引き離す理由がわかりません。 子供たち、孫たちを守るために改善を求めているだけで、決してわがままを言っている訳ではありません。個々家庭の事情も違うように基準やルールが正解とは思えません。問題があれば改善、対応していくことが大事なのではないでしょうか。こども未来課は名ばかりで自分たちの評価を上げるための仕事をこなしているだけで、市民の役に立とうと思っている職員がいるとは思えません。3年間SOS相談を発信しているにもかかわらず、改善もしない職員は必要でしょうか？是非早急に改善を求めます。	はじめに、こども未来課の対応により不信感を抱かせてしまったことについて、お詫び申し上げます。新年度入園の選考におきましては、こども未来課で優先度の項目を設定し、その基準に基づき実施しております。園の立地や定員により、全ての方のご希望に沿うことは難しいですが、明示された一定の基準の中で公平、公正となるよう取り扱っております。 今回の転園に関することのほか、保育園での悩みや困りごとなどにつきましては、保護者様から直接お話を聞かせいただければ、状況に応じた配慮や支援に繋げられるよう努めてまいります。ご家族で話し合わせ、ご連絡くださるようお願いいたしますと幸いです。	こども未来課

No.	ご意見	回答	担当部署
18	産まれてから、燕市(旧吉田町)で育ち、母親になり今年で10年になります。 10年で5人の子どもを産み育てています。10年で予防接種の公費接種が増えたり、ゴミ袋をいただけるようになったり、産後の健診費等の補助を出していただけるようになったりと大変ありがたいのですが、保育料については2人目半額、3人目無料になる基準が他の市と比べてとても厳しいと感じています。例えば、新潟市は18歳、2歳、0歳の子どもがいる家庭も3人目は無料になるそうです。新発田市は認定されると1、0歳児は保育料無料(副食費等はかかる)、その子が3人目の場合は副食費も無料になるそうです。 燕市は保育園に3人入っていないと2人目半額、3人目無料にならないですが、それは年子もしくは双子を産んでくださいということでしょうか？そんな家庭なかなかないと思います。燕市は子育てしやすいとアピールしていますが、正直保育料が莫大な料金なのでこのご時世、結構な痛手です。3人以上育てている家庭の保育料について、他の市を見習って今一度もう少し優しい目線で考えていただけないでしょうか？どうかよろしくお願い致します。	本市では現在、国の基準に基づいた多子世帯の保育料軽減措置を行っており、小学生以上のお子さんは多子世帯軽減の人数カウントの対象外となっております。いただいたお手紙にある新潟市や新発田市は、市独自で国の基準以上の軽減策を行っているものであり、ほかにも、同様の支援を行っている市町村があることも承知しております。 こうした状況を踏まえ、本市においても市独自の子育て支援策を検討しているところです。検討にあたっては今回いただいたご意見も参考にさせていただき、「子育てするなら燕市で」と評価いただけるよう取り組みを進めてまいります。	こども未来課
19	ふれあい広場のドッグランを使用させていただいております。 燕市民なので無料で施設を使える事は本当にありがたいですし、ノーリードで遊ばせてあげられる場所があることは嬉しいです。 しかし、営業時間が9時～17時で夏場は気温が高く利用できません。11月15日で年内の開放が終了してしまうのですが、積雪も少ないですし、できる事なら冬季も開放していただけるとありがたいです。どうぞご検討のほどよろしくお願いいたします。	いつも吉田ふれあい広場のドッグランをご利用いただきありがとうございます。 吉田ふれあい広場の冬季間の開園について、施設の指定管理者であるグリーン産業株式会社と協議を行いましたところ、冬季間は天候が不安定な日も多く、積雪があった場合には施設内の除雪が必要となるなど、安全性等の観点から、現時点でご要望にお応えすることは難しいと考えております。ご期待に沿えず申し訳ありませんが、いただいたご意見は今後の施設運営の参考にさせていただきます。	都市計画課
20	私は個人でケーキ店を営んでおり、ツバメルシェでもお世話になっております。 先日、三条ミズベリングのご担当者様から、ミズベリングでの大規模イベントへの出店依頼があり、初めて参加させていただきました。 実はその依頼が来たあとも、燕市民の私たちには三条のそのイベントの案内などは一切無く、当日実際参加すると面白いことをたくさんやっていて集客も多く、とても驚きました。なんでお隣の市、ましてや県央地域でこんなに情報が届かないのだろう？と不思議な気持ちになりました。もちろんその話をすると、三条のみなさんも燕のイベントの情報は入ってこないとのことでした。 今の時代、SNSやホームページを検索すれば何かしらの情報には行き着く時代ですが、自力でそれぞれの自治体を調べることになってしまいます。縦割り行政だからしょうがない、と言うのは簡単ですが、相互の情報が届かないのは、一市民としては「だよね」と思ってしまいます。近隣市町村にチラシを配布するのは難しいかもしれませんが、提案として ①県央地域の各市町村広報誌の一部に、県央インフォメーションコーナーを設けて、行事の案内やトピックスを載せる。 ②各市町村のSNSをフォローしたりホームページ閲覧ではなく、県央地域の市町村が共有で発信できるSNSアカウントを作り、そこに各市町村がPRをどんどん載せる。そこは敵対ではなく競争です！共通のアカウントに情報が載ればリンクにも飛びやすい。 はどうでしょうか？ どこかの市町村が動かないと、ずっと昔のままの三条vs燕のイメージが払拭されません。三条・燕だけでなく、加茂・田上・弥彦なども巻き込んで、県央地域全体を盛り上げていただけないでしょうか？是非とも前向きな選択と発信をお願いいたします！	本市が発行している広報紙「広報つばめ」につきましては、毎月限られたスペースのなかで、市民の皆さまにとって有益な情報を厳選し、わかりやすくお届けできるよう努めています。情報量の制約があり、当市における情報も厳選して掲載している中、他市町村の事業を掲載することは難しいのが現状です。 SNSにつきましては、ターゲットを絞って様々な情報を発信できることが特徴になりますが、市町村共有のアカウントでは、様々な情報が混在してしまい、本来受信したいと思っている特定の情報が埋められたり、重複したりしてしまう可能性がございます。 以上のことから、他市町村と連携した広報紙の作成やSNSの運用はしていない状況ですが、各市町村の事業につきましては、報道機関に向けてプレスリリースを行っており、各新聞や情報誌などで取り上げていただくよう働きかけているところです。また、「燕三条 工場の祭典」など他市町村と連携した事業などは、多くの燕市民や市外の方に情報が届くよう、個別のアカウントを通じた情報発信を行うほか、燕市公式X等においても広くPRしてまいります。	広報秘書課
21	燕勤労者総合福祉センターの視聴覚室に大型ディスプレイを設備してもらえないでしょうか？ 会議で使わせていただいておりますが、視聴覚室であるにもかかわらず視聴に適した設備がなく不便に思っております。三条市の栄体育館では設備され貸出されております。ご検討のほどよろしくお願いいたします。	現在、燕勤労者総合福祉センターの視聴覚室については、スクリーンとプロジェクターの使用を希望される方に貸し出しサービスを提供しております。「大型ディスプレイ」を直ちに導入することは困難ですが、スクリーンとプロジェクターで代用可能であれば、ぜひご利用いただければと思います。 また、今回いただいたご意見は、今後の設備更新時の参考にさせていただきます。	商工振興課

No.	ご意見	回答	担当部署
22	自立支援医療の更新の際、新しい証明書が届くまでの間、更新中であることを証明するものをなにかもらえないかと以前伺い、申請書のコピーをもらえることになったが、前回またコピーをさせてほしいと頼んだら、手続き中であることを示す判子を押した後の書類は渡せないと言われた。判子が押してなければ更新中であることは証明できないので、コピーであることの判子をもう一つ押してもらってコピーさせてもらったが依然、更新証明書なるものは発行してもらえないのだろうか。長岡市などでは発行しているようだが、国の制度にもかかわらず市区町村によって対応が違うのはどうということなのかご回答いただきたい。	まずは今回の事務手続きにおいてご不便をおかけし、大変申し訳ございませんでした。社会福祉課では、自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定及び受給者証の発行を行っている新潟県に確認した上で、受付印を押した自立支援医療費（精神通院医療）支給認定申請書の写しをお渡しする対応をしておりました。しかしながら、このことが係内で十分に周知徹底されておらず、今回ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後このようなことがないように改めて対応の周知徹底をしてまいります。なお、改めて新潟県に確認したところ、手続き中における上記対応方法に変更はないとの回答であり、ご指摘のあった長岡市も同様の対応をとっているとのことでした。今後も自立支援医療費（精神通院医療）の更新や変更申請のお手続きの際にご希望がありましたら、社会福祉課へお申しつけくださるようお願い申し上げます。	社会福祉課
23	勤労者総合福祉センターに電話をして会議室の空き状況を尋ねました。会議室は空いているが申し込みが1週間前までなのでお受けできませんと言われました。場所が空いていて使いたい人がいるのに、何故貸し出しができないのでしょうか。市役所に報告して許可を得る必要があるとも以前に聞いたことがあります。やはり以前に中央公民館において希望した部屋が空いていなくて他の部屋の予約をしたら、借りる予定日の2〜3日前にたまたま希望した部屋がキャンセルになったと聞き、変更をお願いしたのですが断られました。この時も1週間を切っているから駄目だとの返事でした。何故燕市の施設は使い勝手が悪いのでしょうか。	燕勤労者総合福祉センターの会議室等の貸出については、規則に基づき、利用日の6か月前から7日前までに申請書を提出いただくこととしております。様々な利用団体・個人・法人などから申請がある中、施設使用料を含めた利用可否の審査に時間を要することから、公民館を含む貸館には申請書の提出に期限を設け、運用を行っているところです。その一方で、差出人様のおっしゃることもごもっともであると受け止めております。より多くの方にご利用いただける施設となるよう、今後施設の運用見直しを行う際には、いただいたご意見を参考にさせていただきます。	商工振興課
24	免許を返納し、現在はキララン号、コミュニティバスを上手に使うようにしていますが、土日もぜひ運行されるよう切に願っております。	きららん号やコミュニティバスの土日の運行についてですが、他の方からも要望をいただいている内容でして、実施に向けて検討しているところです。しかし、以前実験的に運行したこともあり、その際は利用実績が平日と比べて非常に少なく、休日運行の本格化を断念した経緯もございます。本市としては、休日運行に向けた検討のため、住民の需要と財政的な負担などの比較し、慎重に判断してまいりたいと考えております。	都市計画課
25	ハーフマラソン数回、燕マラソンにも2回程参加させてもらいました。折角の機会ですので、イベントとして八十里超マラソン大会を県央と福島只見町との合同イベントとして企画して貰えませんか？当初1人で越境ランニング練習を考えておりましたが、熊とか怖いので、開通プレイベントとして歩く、走るなど検討をして貰えたら嬉しいです。距離は5kとか10kとか県境をキーワードに勘案して貰えばより良いかと思います。県境開通記念を何かの形で両県周辺自治体共々投げかけ、実行して貰えれば大変喜ばしい事と考えます。開催キーワードは八十里です。	燕さくらマラソン大会にご参加いただきありがとうございます。来年も4月12日(土)に開催を予定していますので、ぜひご参加いただければと思います。この燕さくらマラソン大会では、全国から1,800人を超えるランナーから参加をいただいております。知名度も年々高まっております。また開催運営にあたっては、多くのボランティアからも協力をいただき、手厚くおもてなしすることで、参加者からはご好評をいただいております。毎年楽しみにしているというリピーターも多くいらっしゃいます。そこで、当面の間は「燕さくらマラソン大会」に対象を絞り、より充実した大会となるよう、差出人様はじめ様々な方からのご意見を参考にしながら、開催に向けた準備を進めていきたいと考えております。	社会教育課
26	分水に住んでいるのですが分水には24時間営業のチェーン店がありません。ディーゼクラブの横にあるファミマ跡地にすき家か吉野家の誘致等をしていただけると嬉しいです。夜になるとコンビニしか食べ物を食べれるところがなく食べる為だけに吉田や三条のすき家に行くのが嫌になりこの街にあればなと常々思っています。	分水地区に24時間営業の全国チェーン飲食店を誘致できないかとのご要望ですが、商業施設の出退店につきましては、周辺地域の需要や競合、採算性などを考慮し、事業者の責任によって判断されるものであります。このため、本市が飲食店等の店舗を誘致することは難しいですが、事業者側から進出希望があった際は、店舗設置にかかる各種手続き等に丁寧に対応してまいりたいと考えております。	商工振興課

No.	ご意見	回答	担当部署
27	予防接種健康被害救済制度について、ホームページや幅広い広報媒体で分かりやすく案内する事。 予防接種健康被害救済制度申請希望者に、分かりやすい書き方案内を作成し、希望者に案内を配布、ホームページや幅広い広報媒体で周知する事。 市内全ての病院に対して予防接種健康被害救済制度を希望される患者さんに、受診証明書の記載やカルテの写しの拒否をしないように通達を出す事。 病院用に「受診証明記載マニュアル」を作成しホームページ広報で案内する事。また作成したマニュアルを医師会、各病院に分かりやすく案内、周知する事。 ワクチン接種記録の保管期限延長、若しくは接種者手帳の発行を国に働きかける事。 市内の小中学校に通う、ワクチン健康被害の児童・生徒に対する、教育を受ける機会の保持の為、被害を把握するための調査を行い、各学校に体調不良で通えなくなった子供にオンライン授業を検討したり、出席日数に関して、診断書がある場合出席停止扱い等を検討したり、進級卒業に関し柔軟な対応を行うよう各学校に通知する事。 ワクチンによる健康被害によって職を失った方、体調不良による再就職の難航者に対する生活の救済の為、調査を行い必要な処置を行うよう、国に働きかける事。	予防接種健康被害救済制度については、ホームページに掲載しておりますが、他自治体を参考にするなどして分かりやすい内容となるよう、随時更新を検討してまいります。 受診証明書については、当市は申請件数が少ないことから個別に説明しております。また、申請者の方の了承を得た上で、医療機関に直接依頼をする場合もございます。 ワクチンの接種記録の保管期間延長等については、国に要望する予定はございませんが、当市の健康管理システムにより接種記録を管理しておりますので、遡って確認することが可能となっております。 教育、就労については、対象の方が不利益な対応を受けることのないよう対応してまいります。	健康づくり課
28	5歳の障害を持った子どもを子育て中です。 癇癪があったり多動だったり、さまざまな行動で公園に行くのが大変です。全面柵で囲まれていないと道路に向かって行ってしまうなど、すごく大変なんです。道路に向かう、止める、癇癪を起こす。どうにもならず帰るしかない。一般の子ども達と触れ合うことが難しく、遊具での順番を待ったりもなかなかできません。奇声や癇癪で迷惑をかけてしまうため、人数が少ない時などしか行けません。 ネットで障害児公園！と言うものがある記事を読み、燕にあったらいいな、と思いました。全面フェンスに囲まれているようです。思う存分走らせて遊ばせてあげたいのです！児童館にも行きずらいです。障害児が自由に遊べる環境を作っていただけたらと願います。ごく少ない意見かもしれませんが、障害を持っている人にも優しい燕市になっていただけたら、うれしいです。	市内にお子さんが自由に遊べる公園がなく、ご不便をおかけしております。 差出人様のご希望に沿う公園をすぐに整備することは難しい状況ではありますが、現在、児童研修館「こどもの森」や「燕市交通公園」のある燕市大曲の県央大橋西詰エリアに、屋内こども遊戯施設「うさぎもちハレラテつばめ」を建設しております。この施設は、「障がいのある子もない子も一緒に遊べる施設」がコンセプトです。施設内には遊びの指導員であるプレイリーダーや、小さな子ども向けの見守り員を複数配置いたしますので、走って施設外に出てしまわないように、保護者の方を含め、複数の大人の目で見守ることが可能です。気分が高ぶった時にクールダウンできるよう、少し狭くて暗めのスペースもご用意します。令和7年夏ごろのオープンを目指しておりますので、オープン後はぜひご利用ください。 それまでの間は市内に7箇所ある児童館をご利用いただければと思いますが、ご利用にあたり不安がある場合は、こども未来課までご相談ください。	都市計画課
29	済生会新潟県央基幹病院で第1子を出産しました。 不妊治療をずっとしてやっと授かる事ができました。やっとやっと我が子に会える嬉しさと初めての出産だったので不安な気持ちと、とにかく無事に産まれて来て欲しいと思いながら入院の日を迎えました。子宮口全開になって子供が降りてこずエコーで子供を確認したら、向いては行けない方に向いていて緊急帝王切開になりました。子供は重症新生児仮死で産まれました。お腹にいる時は沢山胎動を感じるくらい動いてたし妊婦健診では指摘もなかったのも今でも信じられません。 今回の出産の説明が医師からあり、その話の中で医師不足と言われました。はっきり言ってそんな事私には関係ないし、基幹病院ができる前から医師不足は解っていたのではないのでしょうか？そのなか開院したのでしょうか？医師不足の理由だけで今回の出産の結果になった訳ではないと思いますが、もしかしたら変わってたかもしれません。今頃子供と一緒に過ごせてたかも知れませんが、私の出産で病院の体制が変わりましたと病院側から言われましたが、何か起きてからじゃ遅くありませんか？私の子供の命、人生はなんですか？今回の出産に納得がいかないので産科医療補償制度で原因分析をしてもらう為に申請中です。 子供はまだ退院できなく医療ケア児です。退院できるようになっても自宅でケアは主に私ですが1人では無理です。役所に子供のいろんな申請をしに行った時、燕市は沢山の補助など手厚いと思いました。ありがとうございます。私の子供みたいに重症医療ケア児が通えるデーサービスを燕市にも設立して欲しいです。そして子供は基幹病院に命をかけて教えてくれた事を無駄にして欲しくありません。そしてこれ以上私や子供みたいな思いをする方がでて欲しくありません。 私は医師の発言や態度を一生忘れません。そして病院にも今回の事忘れて欲しくありません。大きい新しい病院なら安心して出産できると思っていました。燕市は最寄りの病院をいれ大きい病院は基幹病院しかありません。少子化と言われてる中安心して出産できるように医師不足を何とかして頂きたいです。	【医師不足の解消について】 このたびは、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 差出人様が説明を受けられましたように、新潟県では、全県的な医師不足が喫緊の課題となっており、以前から医師確保に向けて様々な取組を行ってきておりますが、医師不足解消までは至っていないのが現状です。済生会新潟県央基幹病院も同様に、医師不足である状況は否めないことから、燕市といたしましても、県や近隣市町村と連携し、県央地域の医師確保に取り組んでいるところです。 すぐに医師不足を解消できるものではありませんが、今後も、市民の皆様が安心して医療を受けることができるよう、関係機関等と協力しながら、地域医療体制の整備を推進してまいりますので、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。 【医療的ケア児が通えるデイサービスの設置について】 現在燕市には、重症心身障がい児・医療的ケア児が通えるデイサービス施設「ロンディーネの杜」が1か所設置されております。この事業所は、国の基準に基づき、主に重症心身障がい児・者および医療的ケア児・者が利用対象となっています。お子様の年齢や状態等に合わせ、きめ細やかなケアを行っており、医療面でもサポートをできるよう、施設内に「からだこころ発達支援クリニック」を併設しております。 事業所を利用するためには、燕市役所子育て応援課での申請手続が必要となります。制度の説明や利用までの流れ等については、窓口または電話等で詳しく説明させていただきます。また、そのほか子育てに関する困りごとや、市の事業に関してご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。	健康づくり課 子育て応援課

No.	ご意見	回答	担当部署
30	燕市の小学校のスクールバスを検討して欲しいです。 距離、登校時間が長い地区の子供は、夏は猛暑、冬場の大雪、大雨と強風の大荒れの中、朝から大変な思いをしながら登校しております。中にはそれが原因で学校行きたくない、毎日親に送り迎えして欲しいと言う子供がおります。朝の忙しい時間の中、子供を学校まで送り届けるのもとても大変です。私の家から小学校まで子供の足で約40分ほどかかります。 私は3人子供がおり、2人小学生、下は保育園ですが、上の子供を送る為に下の子も連れて送っていきます。(悪天候で、登校班の他の方々みんな車で送る連絡がくるので結局うちも送りになる)下の子が熱を出した時でも、上の子供達を送る為に連れて行く時もあります。下校時も、距離が長いのに、子供の数が減っている為に1人で帰る子もおります。 それだけでなく、昨今子供を狙った通り魔、危険ドライバーによる巻き込み事故など子供が犠牲になる事件が多発しております。変質者、不審者も多く、私の1番下の娘が1年生になる年、同じ町内には他に同学年がおりません。少しでも子供から守れる対策としてスクールバスの実施はありがたいですし、有料でもお願いしたい家庭は沢山いると思います、是非ご検討よろしくお願い致します。	燕市では、学校の統廃合により通学距離が大幅に延びてしまった場合等を除き、徒歩での登下校を原則としております。現時点で新たにスクールバスを運行することは難しい状況ですが、差出人様や保護者の皆さまのご意見を踏まえつつ、地域の実情に対応しながら、引き続き各学校や関係機関と連携して児童が安心安全に通学できるよう取り組んでまいります。	学校教育課
31	燕市でも有料で落語の鑑賞会を度々企画されていますが、会場までの移動だけでも年寄りにとっては大変なことだと思います。そこで、私が持っている「落語全集」を図書館や地域の集会場などの老人会等のコミュニティーのなかでお役立ていただけたら嬉しいです。	ご提案を受け、図書館や高齢者に関わる関係団体などでの「落語全集」活用が可能か検討いたしました。が、個人で所蔵されているコレクションをお借りしての事業は、著作権や補償などの課題もあり、ご希望にお答えすることが難しいと考えております。 一方で、市に関係する団体等に対し、機会を捉えて差出人様のご提案を情報提供させていただき、活用したいといった声があった際はご連絡させていただきます。	社会教育課 長寿福祉課
32	御市の駅についてですが、燕駅と旧分水町の分水駅までもが無人化されたことには驚きました。特に燕市という市の中心(代表)駅でもある燕駅が無人化されたことは尚更です。 御市の有人駅は旧吉田町の吉田駅と燕三条駅しかなく、素朴な疑問として、なぜ寺泊駅みたいに両駅は燕市による簡易委託駅にできなかったんでしょうか。市の職員1人を配置する人件費といった財政的な問題もあり、残念ながらできなかったんでしょうか。 当然無人駅には駅のスタンプは盗まれる可能性は大きいゆえに片付けられています。御市としては、今後燕市にきた記念として、燕駅の洋食器のスタンプや分水駅の良寛さんのスタンプの復刻版を市役所で押印できるよう検討できますでしょうか。また今後無人化された駅はどう活用されるんでしょうか。特に市名を冠してる駅が無人というのは寂しさを感じさせてしまいますので、どう活用されるかも検討していただければと思います。	無人駅の活用や市役所でのスタンプなどについて、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。 燕駅と分水駅は、JR東日本から厳しい財政状況や無人駅になった場合の影響などについて説明があった後、燕駅は令和5年から、分水駅は令和4年から無人駅化されたものです。同社からは、無人駅化したことによる市民や利用者の方からの問い合わせ等はそれほど多くなかったと伺っており、これらの経緯を踏まえて、市として簡易委託駅の実施は検討しておりません。 なお、JR東日本が設置・管理していたスタンプは、無人駅化と同時に残念ながら撤去されてしまいましたが、燕市内観光施設である燕市産業史料館をはじめとする各史料館や、道の駅SORAIRO国上において、マンホールカードの配布を行っています。また、燕市産業史料館では、気軽にできる本市ならではの「ものづくり」体験メニューを豊富に用意しており、訪れていただいた方の思い出に残るほか、出来上がった作品はお土産としてお持ち帰りいただいております。 さらに、無人駅の活用案としましては、地域で活動する高校生が中心となった団体「燕市役所まちあそび部」が、活動の宣伝やまちのPRを目的に燕駅舎内にパネルやポスターを設置する企画などを検討しているところです。 市としましては、引き続き機会を捉えながら、無人駅の活用等についてJR東日本に働きかけたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。	都市計画課
33	公民館を利用してこども食堂を開こうと現在動いています。こども食堂を運営するにあたり、公民館使用料がかなりかかりそうです。調理室はもちろん、食事をする場所、地域と子どもたちがコミュニケーションをとれる場所、学習室としての場所など、最低でも4か所を借りたいと考えております。免除される又は減額される方法を色々聞きましたが、どれも当てはまりませんでした。 こども食堂を通じて地域の方と子どもたちがつながる場所＝公民館にしたいと考えております。のちに子どもたちの地域の防犯、防災につながると思います。どうかこども地域食堂使用の際には、使用料の減免や減額をお願いいたします。	公民館使用料について、一般の団体様による子ども食堂(地域食堂)開催でのご利用は、規則で定められている減免対象に該当しないため、減免を行うのが難しい状況であり、すでに公民館で子ども食堂を運営している他団体にも同様の対応をお願いしております。 運営費については、子ども食堂など子どもの居場所づくりを行う団体に対し、運営費の助成を行っており、会場借上料を含む会場経費についても助成対象としております。 燕市としましては、子どもの居場所づくりに対し、引き続き支援をしてみたいと存じますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。	社会教育課
34	親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”～BPプログラム～に参加予定でした。 当日大雪で不要不急の外出は控えましょうとニュースでも言っているため延期かなと思い電話をしたところ予定通り開催とのこと。吹雪いているし路面状況も悪い家から車を出すことも大変な状況なのに。こんな状況なのに本当にやるのか聞くと「こどもの森の前は雪除けました」と。そこまで行くのが大変なのに伝わらず。 キャンセルしたいこと伝えるとせっかく予約したんだからきてみたいな感じのこと言われました。ただでさえ小さい子がいる外出は大変なのにこんな悪天候でも他人事のように言われて不愉快でした。また普通に開催するのにも不信感しかありません。参加楽しみにしていたけど残念です。全てキャンセルさせて頂きました。他の方は行かれたのか分かりませんが…。	「親子の絆づくりプログラム『赤ちゃんがきた！』～BPプログラム～」への参加を楽しみにされていたにも関わらず、ご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。 2月7日のBPプログラム開催にあたっては、当日の天候を考慮し、延期するかどうかを検討しましたが、既に参加を予定されている方もいらっしゃることから、予定通り開催いたしました。 電話対応した職員に、差出人様からも参加いただきたいとお伝えした真意を確認したところ、「BPプログラムは、2～5カ月の初めてのお子さんとお母さんを対象としており、参加できるのは今回限りなので、できれば参加しませんか」というものでした。決して他人事で申し上げたわけではありませんが、至らぬ点があったものと思います。改めまして、心からお詫び申し上げます。	こども未来課

No.	ご意見	回答	担当部署
35	土木課の方には何度かお願いしておりますが、消雪パイプがあっても雪が積もっている状況です。対処をお願いいたします。	市が設置している消雪パイプは、センサーが雪を感知することで消雪パイプが自動で作動する降雪感知器を設置している箇所が多いのですが、今回のような強風の場合は、センサーが感知せず作動しないことがあります。 このことから、雪が降っていても消雪パイプが作動していない場合は、お手数ですが担当までご連絡いただきたいと思います。 また、今後、散水量の低下などにより、車両の走行が困難となった路線につきましては、一時的に機械除雪での対応を検討させていただきますので、自治会長を通じ市へ要望いただきたくお願いいたします。	土木課
36	除雪に関して切にお願いです。 消雪パイプがない地区なので除雪をして頂き感謝していますが、毎年除雪車が来たあとの処理に困ってます。 我が家は一番奥の家で、しかも電信柱が道路に出ている為、電信柱側はそのままずっと除雪して行く状態です。車を傷付けないようにギリギリまでしないのは承知していますが、もうひとかき、ふたかき出来るはずです。 今回の大雪では、いつもより多くの雪と前から押されてきた雪の塊が朝には固くなり、その塊を近所の方にはうるさく申し訳なかったのですが、早朝5時前からママさんダンプとスコップで取り除きました。硬い雪で雪かきが終わらず、土曜早出出勤の家族の車を優先にして、何とか1台分は出せたものの、私は出せず仕事に遅刻する羽目になりました。 今回だけならまだしも、これが毎年です。私達の組にはお年寄が多いです。除雪車が来て喜ぶどころか、近所のみなさんももう少ししてくれてもいいのにと怒りながら雪かきをしています。除雪している担当者もわかりますが、あえてこちらに書かせていただきました。 毎年毎年、除雪車が来た後処理を早朝から1時間強の雪かきは大変なのです。完全に除雪をしてほしいとは言いません。せめて、車がすぐに出せるくらい、少しの雪かきで済むように大きな塊を取り除いてもらえるように忠告して頂けませんか。	ご要望いただいたご自宅の前の道路は、市道でなく私道となっており、市で除雪を行う路線になっておりません。除雪を行っている経緯はわかりませんが、自治会長もしくは沿線の方々が除雪業者に直接お願いをして、業者のご厚意で除雪が行われていると思われます。 このことから、今回いただきましたご要望を除雪業者にお伝えすることは可能ですが、それにより除雪を行っている業者が今後の除雪をお断りされる可能性も考えられることから、再度、ご要望内容を除雪業者に伝えてよろしいか確認のため、担当までご連絡をお願いいたします。	土木課
37	つば九郎さん担当職員の訃報について。私は燕市民ではありませんが、つば九郎さんは交流のある燕市に何度も足を運ばれ、その話題性からも燕市はもとより新潟県に多大な貢献を成されて来ました。謹んでご冥福を祈るばかりです。燕市の規定はあるのかとは存じますが、これまでの功績に対して『名誉燕市民』に追贈にはなりませんが、ご検討いただけませんか。これが故人に対する最大の花向けになるのではないのでしょうか。お忙しいとは存じますが、ぜひとも、よろしくお願い申し上げます。	つば九郎ご担当者様の訃報に接し、市といたしましても大変胸を痛めていると同時に、これまでのご功績に深く感謝しているところです。 球団ホームページにもあるとおり、故人のプライバシーを尊重したいと考えており、現時点において燕市名誉市民になっていただくことは検討しておりません。何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。 なお、つば九郎自体の活動はしばらくの間休止とのことですが、今後も東京ヤクルトスワローズと本市との交流・連携事業は継続していきたいと考えております。	広報秘書課
38	「带状疱疹の予防接種の公費負担」について。 燕市さんは带状疱疹の予防接種を公費で半分負担して下さい、有難うございます。 燕市さんの公費負担はとりあえず今年度のみとお聞きしました。私は父も息子も带状疱疹に罹った既往が有るので、50歳になるのを待っていた位です。ですが、带状疱疹の予防接種は非常に高い。なので、公費負担は本当に有難いんです。 なので、燕市さんにお願いです。是非、来年度も带状疱疹の予防接種の公費負担を宜しく願います。 燕市民の安心安全な生活の為、又、医療費削減の為にも切に願います。	带状疱疹ワクチンの接種費用助成につきましては、令和7年度も継続する予定で計画しております。 燕市議会3月定例会において新年度予算案が可決された後、3月下旬に市ホームページや市内医療機関等でお知らせする予定ですので、正式なご案内については今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。 なお、令和7年度の計画は下記のサイトをご覧ください。 ※燕市ホームページ: 令和7年度当初予算のポイント(44ページ参照) https://www.city.tsubame.niigata.jp/material/files/group/5/R7yosanpoint2.pdf	健康づくり課
39	認知症の義母の介護で大変苦しい思いをしております。早期に脳ドック等を受けていれば、投薬治療を早く受けられて今とは違う結果になっていたと思います。高齢化の進む現在、認知症も3人に1人が罹患するといわれています。当然医療費の拡大も招く結果となり財政を圧迫する一環に繋がっていると思います。予防とともに脳ドックを受けやすい環境を整備し早期発見、早期治療につなげ、本人はもとよりご家族の苦しみを軽減することができるのではないのでしょうか。どうぞ前向きにお考え下さい。	差出人様のおっしゃる通り、65歳以上の約3割が認知症および軽度認知機能障害に罹患していると言われており、今後高齢化の進展とともに有病率がさらに増加していくことが推計されていることから、市といたしましても国保事業運営上の課題として捉えております。 一方で、ドック費用の助成につきましては、国保加入者から納めていただく国民健康保険税が財源となっており、脳ドックなどへの助成を拡充することは国民健康保険税額に影響を及ぼす可能性があります。 また、今後ドック費用の助成も含めた保健事業を県下統一していく動きもあることから、本市におきましては、県全体の動きや独自に助成を行っている他市町村の状況を総合的に勘案しながら、令和8年度以降の事業実施について検討していきたいと考えております。	保険年金課

No.	ご意見	回答	担当部署
40	昨年に市教委に具申すべく昨年度事務局の教頭、市議2名同席のもとで市教委の担当者2名に、当郡市P連事務局に関する具申書について話し合いを設けさせて頂きました。 私どもはこれらに対する回答を待っている状態ですが一向に投げたボールが返ってくる気配がなく今日に至っております。燕弥彦P連は、燕市内の小中学校のPTA組織の集合組織であり、児童、生徒をはじめ、その保護者、引いては教職員の皆様と協力しながら活動をしております。市教委による各活動にも、求められる通りに役員を派遣し、燕弥彦の子どもらのために話し合い、市教委と共にあるPTA組織であると自負しております。昨年、今年度と活動に熱い想いのメンバーに恵まれ、今後の燕弥彦の子供らの為を思えばこそ、少しでもよい環境で教育現場に携わり我々の子供らに、より多く向き合い、人間味ある教育を提供頂きたい教職員の皆様の思っの具申書なのですが、うんともすんともないのは、市教委の学校教育に対する冷めた熱量の表れと受け止めざるを得ません。この具申は恐らく教育長にすら届いておらず、担当者レベルで、話は聞いたで終わり、時を空費しながらやり過ごそうとしているのでしょうか。 或いはこのような市長への手紙を通さなければ動かない、腰が重く、旧態依然に居心地がよく、変わることに面倒さを抱く形骸化した、自分らの肩書、立ち位置ばかりを気にして、何ら変わろうとしない組織なのでしょうか？ やれない姿勢から入るのではなく、やれる姿勢から入り検討するのは、教育行政に携わる人の姿勢として当たり前のことではないでしょうか。このような形でお伝えすることは本意ではありませんが、心を鬼にし、敢えて表舞台でお伝えすることで、否が応でも向き合わざるを得ない状況を作り、前進の糧になればと思う次第です。この内容は、燕弥彦P連の総意であると汲み取って頂いて結構でございます。宜しく願い申し上げます。	昨年に行われた会議において、事務局ご担当者様の負担などについて、お話しいただきました。その際、学校教育課といたしましては、双方で、今後どのようなことが可能か検討していくという内容で会が閉じられたと受け止めておりました。そのため回答をお待たせしてしまい、大変申し訳ございませんでした。 市教育委員会といたしましては、PTAが学校の様々な教育活動にご協力いただいていることに深く感謝しております。一方で、PTAは保護者と教員による任意団体であり、その加入は個人の判断に委ねられていること、市教育委員会はPTA組織の一員ではなく、公費や市の職員を投入することは難しいことをお伝えしました。 市教育委員会といたしましては、意見具申いただいたことを協議してまいりましたが、現時点においても同様の考えであります。	学校教育課
41	市役所の社会福祉課の方にも電話で伝えましたが、広報つばめに掲載されている社会福祉課の電話番号が間違っています。問い合わせの電話をしたら「市役所じゃないんですけど。」と言われてしまって、番号をよく確認しても広報の番号と合っていました。未だに訂正等の対応が全くされていないように思います。一般家庭の番号をずっと載せたままにするのはどうかと思います。市への不信感が募る一方です。対応していただければ幸いです。	広報つばめ3月号において非課税世帯臨時特別給付金の問い合わせ電話番号を誤って記載したことにより、差出人様をはじめ、多くの市民の皆様にご迷惑とご不便をおかけしてしまい誠に申し訳ございませんでした。 このたびの掲載誤りに関し、令和7年3月3日付で、市公式ホームページに、新着情報として、問い合わせ電話番号の訂正と謝罪文を掲載いたしました。 また、広報つばめ4月号におきましても訂正記事を掲載する予定としております。 今後このようなことが起きないよう、これまで以上に掲載内容のチェックを十分に行い、再発防止に努めてまいります。 何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 燕市公式ホームページ 【お詫びと訂正】広報つばめ2025年3月号掲載「非課税世帯に対する臨時特別給付金」お問い合わせ電話番号の誤りについて https://www.city.tsubame.niigata.jp/kenko/fukushi_kaigo/186/19250.html	社会福祉課 広報秘書課
42	市役所内の階段で歩きスマホをしている職員とぶつかりそうになりました。他にも歩きスマホをしている職員を何人か見かけました。とても危ないのでやめるよう周知していただきたいです。	この度は、職員の不注意によりご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。歩きスマホは、本人だけでなく周囲の方々にとっても大変危険な行為であり、市としてこのような事態を招いたことを重く受け止めています。今後こういったことが起こらないよう、全職員に対し注意喚起を行うとともに、様々な機会をとらえて周知徹底を図ってまいります。	総務課